

「植物と人間の絆」出版記念の集い

10月19日(日)広島市中区にある県民文化センター6階の非営利組織と大学の交流スペースにて題記集いが開催されました。この集いは、6月28日に東京農大で開催されて第13回園芸福祉シンポジウム in とうきょうでお披露目された新刊本を記念して、園芸福祉活動の原点に戻って、“みつげよう！みつめよう！みんなの活動・園芸福祉”を掲げて開催されました。

これまで資格は取っているが活動はしていない人や活動しているが他の方々の活動を参考にして今後役に立てていただけるように企画したものです。

山口県や鳥取県なども含めて中国地方全ての県から園芸福祉仲間が集いました。スタッフを含めて44名の方々が参加してくださいました。主催は日本園芸福祉普及協会に、共催は下記中国地方8つの団体をお願いしました。

団体名(注1)	主な活動地域	代表 または 会長(注2)
ふあいん倶楽部	島根県邑南町	松本 弘江
NPO 法人 緑の風景 広島	広島県	高松 雅子
NPO 法人 岡山園芸福祉普及協会	岡山県	西村 清
ひろしまね園芸福祉協会	広島県及び島根県	小田原 裕紀
植える美-ing ひろしま	広島県	安東 輝夫
みよし園芸福祉ネットワーク	広島県三次市	末迫 秀夫
一般社団法人 花と緑のハート事業協会	広島県広島市他	並木 則康
小河原よつ葉会	広島県安佐北区小河原	佐野 富貴子

注1:設立順です。 注2:敬称を略させていただきます。

集いは第1部と第2部に分かれていて、第1部では日本園芸福祉普及協会理事の高松さんの開会の辞から始まり、吉長理事長による“新刊本「植物と人間の記綱」に込めた思い”と題して基調講演をしていただきました。

その次に、訳者の一人であるひろしまね園芸福祉協会の進藤が本の概要をご紹介させていただきました。



吉長理事長からはこの本の監訳にあたって、来年被ばく70周年を迎える平和都市広島から植物のもつ素晴らしさを発信するために、被ばく樹や「奇跡の1本松」の写真を関係先から入手して掲載したことなど、ここに参加していなければわからない秘話的なお話も聞かせていただき、本の舞台となった米国の園芸療法の実際を動画で紹介してくださいました。

更に、鳥根県邑南町の”くるみ邑美園”に勤務されている寺本美貴子さん、ひろしまね園芸福祉協会で現在“広の庭”を積極的に展開している信谷美智子さん、そして広島市安佐北区小河原町”小河原よつ葉会”の藤井幸男さんによる読書感想をお一人10分程度お話しいただきました。



寺本さんはパワーポイントで、信谷さんは白板を使って、藤井さんは口頭で、それぞれ特徴ある手法で熱くご自分の経験や体験を本で感じたことと繋げてお話しくださいました。

後半の第二部ではひろしまね園芸福祉協会・理事の葉名さんの司会で、共催いただいた各団体の活動状況などをご説明いただきました。この集いのために心を込めて“つくし工房可部”さんが作ってくれたクッキーをつまみながら皆さんの発表を楽しく聞かせていただきました。



最後に、自由な意見やコメントを述べていただく懇親・交流の場を設けました。



鳥取県から来られた遠藤さんは、資格取得しているけどまだ活動をしていなかったもので、今回の集いに参加していろいろ刺激を受け新たに活動を始めたいとコメントしてくださいました。

終わりはひろしまね園芸福祉協会の小田原代表による閉会の辞でこの集いを締め切りました。

中国5県からお集まりいただいて、熱心に発表やご意見をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(ひろしまね園芸福祉協会 事務局 進藤記)